

東鳴水二丁目交差点の横断時間延長調整を求めている陳情について

1 東鳴水二丁目交差点の概要

東鳴水二丁目交差点は、八幡西区にある市道紅梅幸神1号線上にある交差点である。

この路線は、国道200号と八幡東区方面を結び、朝・夕を中心に自動車交通量が多く、この交差点には、口の字型で横断歩道が設置され、南北方向は11m、東西方向は7mの長さがある。



2 信号機運用の考え方

歩行者用信号の青色秒数については、信号機を所管する福岡県警察のホームページによると、

- ・歩行者の安全を確保するために、渋滞状況など他の状況も考慮しながら検討
- ・歩行者用信号の青色秒数は、横断歩道の長さによって異なり、一般的には歩行速度を秒速1メートルとして道路を渡り切れるように調整
- ・歩行速度が遅い高齢者や子供が多く利用する場所については、より多くの秒数を出すように交通実態に応じて考慮

とある。

3 東鳴水二丁目交差点の信号機の運用状況

東鳴水二丁目交差点における南北方向の横断歩道を、一般的な歩行速度である秒速1メートルで渡り切るためには11秒が必要となる。

そこで、歩行者用信号の青色秒数を、現地で計測したところ、平日の8時頃は青時間25秒と点滅時間5秒の合計30秒、14時頃は青時間15秒と点滅時間5秒の合計20秒であった。

また、八幡西警察署に当該交差点の信号機の運用方法について確認したところ、「当該道路は自動車交通量が多く、円滑な流れを確保する必要があることから、交通量に応じて隣接交差点の信号機と連動させ、青時間を変動させる運用を行っている。」とのことであった。